

コーヒーブレイク



ハワイ島の大自然を満喫

会員 鍛冶 良明 (44期)

実は、昨年の夏から、今年の春休みに家族でハワイ旅行をすることを計画していた。運動会でハワイ旅行が当たるかなり前のことである。運動会へは、当時小学2年生の娘がいつも楽しみにしているお菓子と玩具が目当てというつましい目的での参加で、特賞当選などは想像すらしていなかった。当たった瞬間は、恐縮するようなそぶりを見せつつ、内心ではガッツポーズを繰り返した。東弁運動会の特賞は、家族6人6日間のハワイ旅行という我が家の一大イベントに大きく貢献してくれた。また、商品のハワイペア旅行を6人用旅行プランに組み込むことで面倒もあったが、東弁運動会ハワイ旅行担当の旅行会社の方が細かい手続まで面倒を見て下さり、非常に助かった。

さて、行先はハワイ島。ハワイ諸島の中で一番でかくて、人が少なく、自然が豊富な島である。宿泊したホテルのプライベートビーチでは、ウミガメが5～6匹、海藻をムシャムシャ食べたり、甲羅干しをしたりしていた。庭では、池の中にトンカチのような頭のシュモクザメが泳いでいるという現実離れた光景が広がっていた。プールも人が少なく、下の娘は我が物顔で、傍目にはおぼれているとしか思えない覚えてのクロールで、25mを何往復も泳いでいた。長閑な風景と時間が心を癒してくれた。

オプションツアーでは、イルカウォッチングとハワ

イ島めぐりに出かけた。イルカウォッチングは、船からイルカを見るだけでなく、イルカのたむろしているポイントで海に浸かってイルカと一緒に泳ぐというものである。船酔いでぐったりしていた子どもたちも、ポイントにつくと元気に海に飛び込んだ。人を恐れもせずに自分の周囲を泳ぎまわるイルカと交流するということは、めったにできない貴重な体験であった。また、イルカのピーピーというナマ声も聞いた。あの音は、イルカの調教師がイルカに向けて発するホイッスルの音だと思い込んでいたが、イルカ自身が音を発して仲間と交信している場面は感動のものであった。ハワイ島めぐりは、キラウエア火山やその周辺を見て回ったが、やはりスケールがでかい。火口付近の風景は雄大で、雨上がりに虹がかかるという絵葉書のような場面にも遭遇した。それから、火山の周囲の溶岩もまたすごい。どれだけ噴出したか想像もつかない溶岩が作り出した岩石や洞窟などの様々な造形を見て回ったが、とにかく量がすごい。地球のパワーというものを感じさせる質量であった。火山を中心に観光を済ませ、ホテルに帰りついたときには、出発してから10時間が経過していた。

今回のハワイ旅行の当選で、運はかなりの部分使ってしまったはずだ。当分は地道な生活を送ることになるだろう。しかし、ハワイ旅行は、しばしの地道な生活を支える活力になってくれたと思っている。